

「地域を愛し、自分で考え、自分で行動する子ども」を育てる コミュニティ・スクール 通信



令和3年度 第1号 5月10日

日の里学園コーディネーター 北岡 隆博

「日の里学園 学園対面式」

例年、日の里学園の児童生徒は、4月にユリックスに行って「小中合同歓迎遠足」を実施していますが、昨年度はコロナの影響で休校措置となり中止となりました。

本年度は4月28日（水）に歓迎遠足の形を変え、中学生が出身小学校に行き、2つの小学校の教室等に分かれる方法で「学園対面式」を実施しました。まず中学生が出身小学校の体育館に集合し、健康観察をした後、活動する教室に移動しました。西小では24班、東小では20班の小中学生の縦割りグループをつくり、各教室をオンラインでつなぎました。

内容としては、生徒会代表の歓迎の言葉、各班での自己紹介、レクリエーションなどで、短時間ながら9年生のリーダーたちの活躍で楽しい時間を過ごすことができました。

新たな形での学園対面式でしたが、9年生たちは平成18年から続く日の里学園の小中一貫教育の伝統を受け継ぎ、リーダーとしての自覚を高めたと思います。また、小学生たちも、小中一貫教育のよさや中学生に対するあこがれを感じたようでした。

学園対面式の1年生から9年生の縦割りグループは、2学期の「クリーン作戦」でも生かされ、顔見知りになった小中学生が再会し、一緒に活動することになります。

保護者の皆様には、学園対面式に対して、弁当作りなどご理解とご協力をいただきました。ありがとうございました。



学園学年部会、分掌部会

日の里学園では、年度の初めに、地域の人・もの・ことを学習内容に取り入れた学習計画「日の里カリキュラム」や交流活動を実施するために、2つの小学校教師や中学校教師が学年別に分かれて学年部会をしたり、分掌部会（業務の役割分担ごとの打合せ会）を行ったりしています。この会議で、小中や2つの小学校の児童生徒の「学びの一貫性」を保っています。本年度は第1回会議を学園対面式の午後に実施しました。

